企業情報

2025年2月末日時点

会社概要

会　社　名	株式会社放電精密加工研究所 HODEN SEIMITSU KAKO KENKYUSHO CO.,LTD.
本社所在地	〒222-8580　神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11F
TEL・FAX	TEL：045-277-0330　FAX：045-565-9177
創　　業	1961年（昭和36年）４月25日
資　本　金	18億8,919万円
代　表　者	代表取締役社長　村田　力
従業員数	連結 733名　単体 544名
証券コード	6469（東京証券取引所　スタンダード市場）
事業内容	放電加工・表面処理、金型、機械装置等
主要取引先	IHI、LIXIL、荏原エリオット、川崎重工業、 デンソー、東レ、トヨタ自動車、日本ガイシ、 本田技研工業、三菱重工業ほか
関連会社	Kyodo Die-Works(Thailand)Co.,Ltd

ホームページ
https://www.hsk.co.jp/

事業概要

事業区分	事業分野	アイテム
放電加工 ・ 表面処理	環境 ・ エネルギー	ガスタービン部品 遠心圧縮機部品
	航空・宇宙	航空機エンジン部品 航空宇宙関連部品 防衛装備品
	交通・輸送	自動車表面処理部品
金型	住宅	アルミ押出用金型
	交通・輸送	セラミックスハニカム押出用金型
機械装置等	機械設備	デジタルサーボプレス機 プレス用金型及びプレス付帯設備 混合溶融機 クロムフリー表面処理剤
	交通・輸送	プレス部品の受託加工

理念

社是

善

経営理念

お客様の発展に貢献してこそ
当社の発展がある

認証取得

国際品質マネジメント認証ISO9001
国際宇宙専用規格JISQ9100
非破壊技術認証NAS410/EN4179
Nadcap（CT/NM/CP/NDT/WLD/HT）
※放電加工、研削、浸透探傷検査、溶接に関する認証

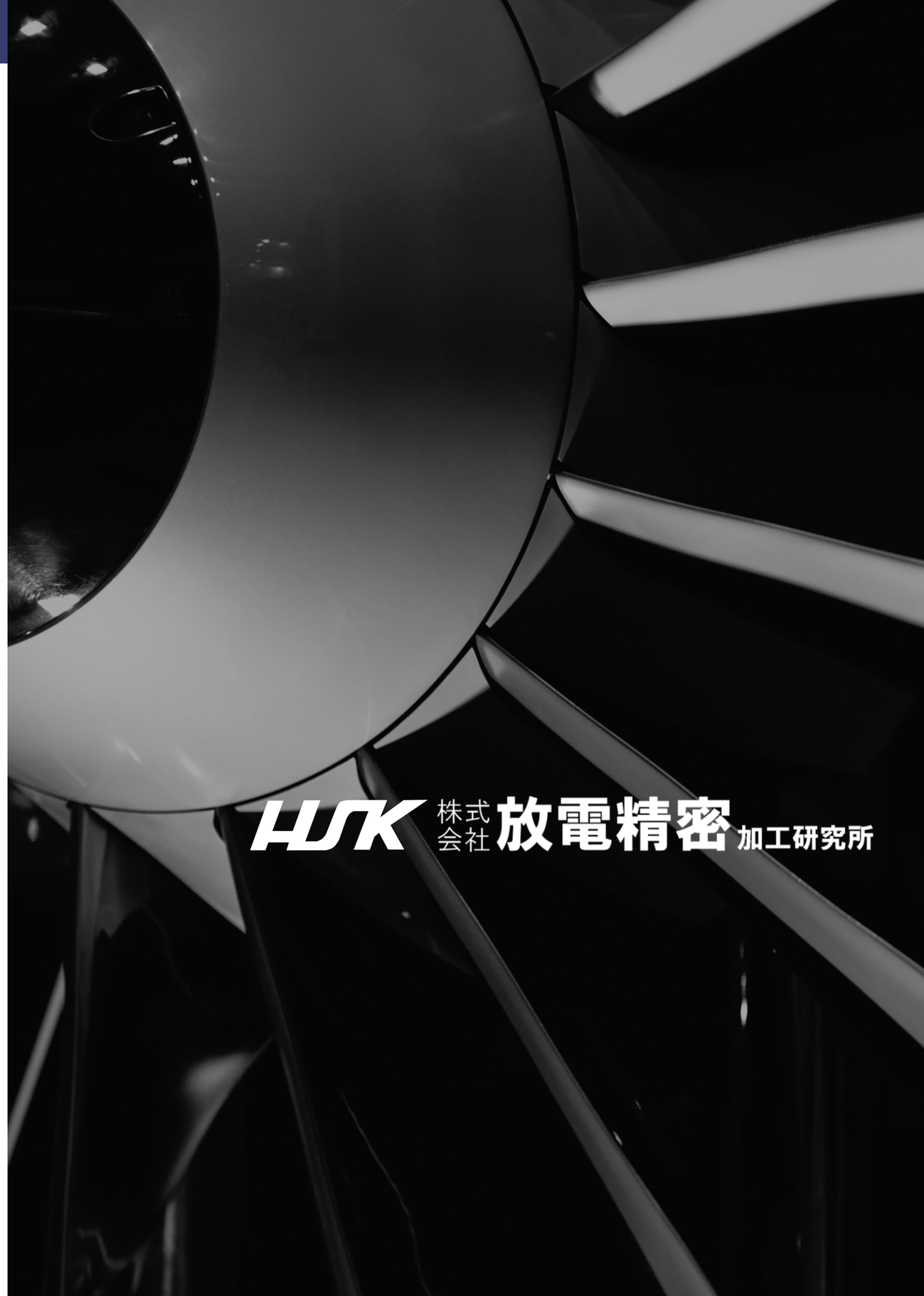
業績および指標

（単位：百万円）

	2023年２月期	2024年２月期	2025年２月期		2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
売上高	11,679	12,160	12,898	総資産	14,830	17,974	17,551
営業利益	▲311	230	689	純資産	4,882	7,229	8,264
経常利益	▲322	169	643	自己資本比率(%)	27.9	35.8	41.9
当期純利益*	▲1,288	231	583	総資産利益率(ROA・%)	▲8.5	1.4	3.3
売上高営業利益率(%)	▲2.7	1.9	5.3	一株あたり年間配当金(円)	20	7	12

*当期純利益･･･親会社株主に帰属する当期純利益

＜2025年７月発行＞



60年以上の技術と経験でカーボンニュートラルの実現に貢献します。

当社の歩み

1961年神奈川県で創業した当社は放電加工を皮切りに多くの金属加工技術を取得し、
お客様のニーズにお応えすることで、多くの事業分野へ進出しています。

1960 高度経済成長

1961年　創業
放電加工を中心とした
受託加工を開始

1963～64年
住宅分野参入
アルミ押出用金型の製造開始
航空・宇宙分野に参入

1970 大阪万博、ベビーブーム

1973年
自動車分野に参入
自動車排ガス浄化装置用金型を製造開始

1980 バブル経済

1985年
エネルギー分野に参入
ガスタービン部品の製造開始

1987年
タイ国に合弁会社設立

1990 バブル崩壊、電力需要堅調

1991年
機械設備分野に参入
プレス成型システムを開発

1999年　JASDAQ上場

2000 リーマンショック 環境対策強化

2002年
デジタルサーボプレス機
ZENFormerを発表

2005年
クロムフリー表面処理剤
ZECCOATの製造販売開始

2010 世界経済回復

2014年
航空機エンジン部品へ本格参入

2020 新型コロナ流行、SDGs取組み加速

2021年
資源循環型社会の構築に向けた
取り組みを開始

ありたい姿
「サステナブル社会に必要な
ものづくり技術を提供し続けて
100年企業となる基盤構築」

強みと事業分野

放電精密加工研究所では３つのセグメントで、５つの分野に
当社の強みである「工程開発力」と「加工技術力」を提供しています。

工程開発力

ものづくりのプロセスを開発し、お客様の「最適」を導く力

どんなに素晴らしい研究も実用化されなければ社会の役に立つことはできません。
当社では、お客様の研究開発の成果を実用化するために、技術とプロセスを開発しています。

加工技術力

豊富な金属加工技術と蓄積した知見

金属の加工に必要な技術をほぼ網羅し、創業当時より高度な技術を要求される事業分野に身を置くことで、その加工技術に一層の磨きをかけてきました。

当社の主な保有技術

形を造る
切削・研削加工
型彫・ワイヤー放電加工
金型・機械設計

守る・強化する
溶射・溶接
耐熱表面処理
クロムフリー防錆塗料

測る・調べる
非破壊検査
三次元測定
金型解析システム

航空・宇宙分野

当社では航空機エンジンの低圧タービンブレードや圧縮機・燃焼器部品の製造を行っております。生産に必要となる表面処理や熱処理、溶射や非破壊検査など特殊な加工技術を多く取得し、複数工程を自社で対応することを可能にしました。近年では、航空機エンジンのメンテナンスに欠かせない「洗浄工程」を取得することで、部品のメンテナンスサービスを多くのお客様に提供しています。今後は、省エネ対応の航空機エンジンの部品製造の対応およびメンテナンスによる省資源に取り組み、カーボンニュートラルへ貢献します。

＜アイテム＞
航空機エンジン部品、防衛装備品

＜この分野で使われる主な技術＞
放電加工、溶射、非破壊検査、耐熱表面処理

環境・エネルギー分野

火力発電所の心臓部ともいえるガスタービンの部品製造に進出し、現在では天然ガス火力発電所で利用されるガスタービンや蒸気タービンの部品製造と、プラントの遠心圧縮機部品を製造しています。特に1000℃以上になる激しい環境で使用されるガスタービン部品には、独自開発した電解加工機により、製品寿命を延ばすための加工を行うなど当社の技術が多く活かされています。安定した電力供給が可能な天然ガス火力発電は、再生エネルギーのバックアップ電源として需要が増加しています。当社では、生成した熱を無駄にしない高効率なガスタービンにおいて必要な部品の精度要求に応えつつ、様々な技術提案を行うことでCO^2削減の下支えとして貢献します。

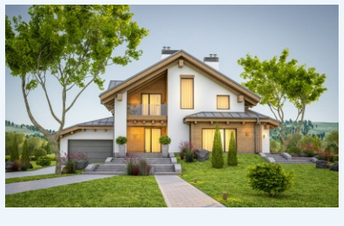
＜アイテム＞
ガスタービン部品、遠心圧縮機部品

＜この分野で使われる主な技術＞
放電加工、電解加工、溶射、耐熱表面処理

住宅分野

この分野では住宅向けアルミ製品を成形するアルミ押出用金型の製造を行っています。従来、単一工程のみを担う企業が多い中、当社は材料調達から金型の完成までを担うことが可能であり、また製造の数値化による独自の生産システムにより短納期を実現し、現在では業界トップの供給量を実現しています。

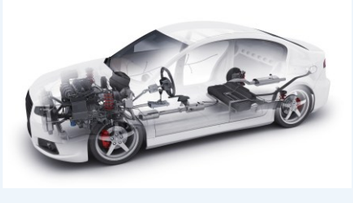
＜アイテム＞
住宅アルミサッシ押出用金型



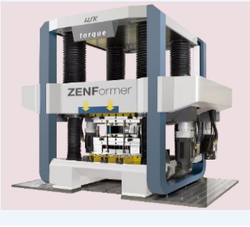
交通・輸送分野

乗用車やトラックなど内部に使われている複数の部品には、当社の加工技術を駆使した部品をはじめ、耐熱性に特化した表面処理技術を活用した部品や、独自の金型技術を駆使した製品が採用されています。
今後、本格的に普及する燃料電池車のセパレーターには当社のプレス加工技術が活かされています。

＜アイテム＞
自動車排ガス浄化装置用金型
自動車関連プレス部品



機械設備分野

偏心荷重に強い機構により平行加圧を行うことで、従来プレスにはないミクロン単位の加工を可能にしたデジタルサーボプレス機およびプレス付帯設備の製造・販売を行っています。このプレス機では、金属だけでなく、粉体やフィルム素材にも対応し、お客様と新素材の開発や、
試作・開発品を共同で行っています。

＜アイテム＞
デジタルサーボプレス機ZENFormer
プレス付帯設備